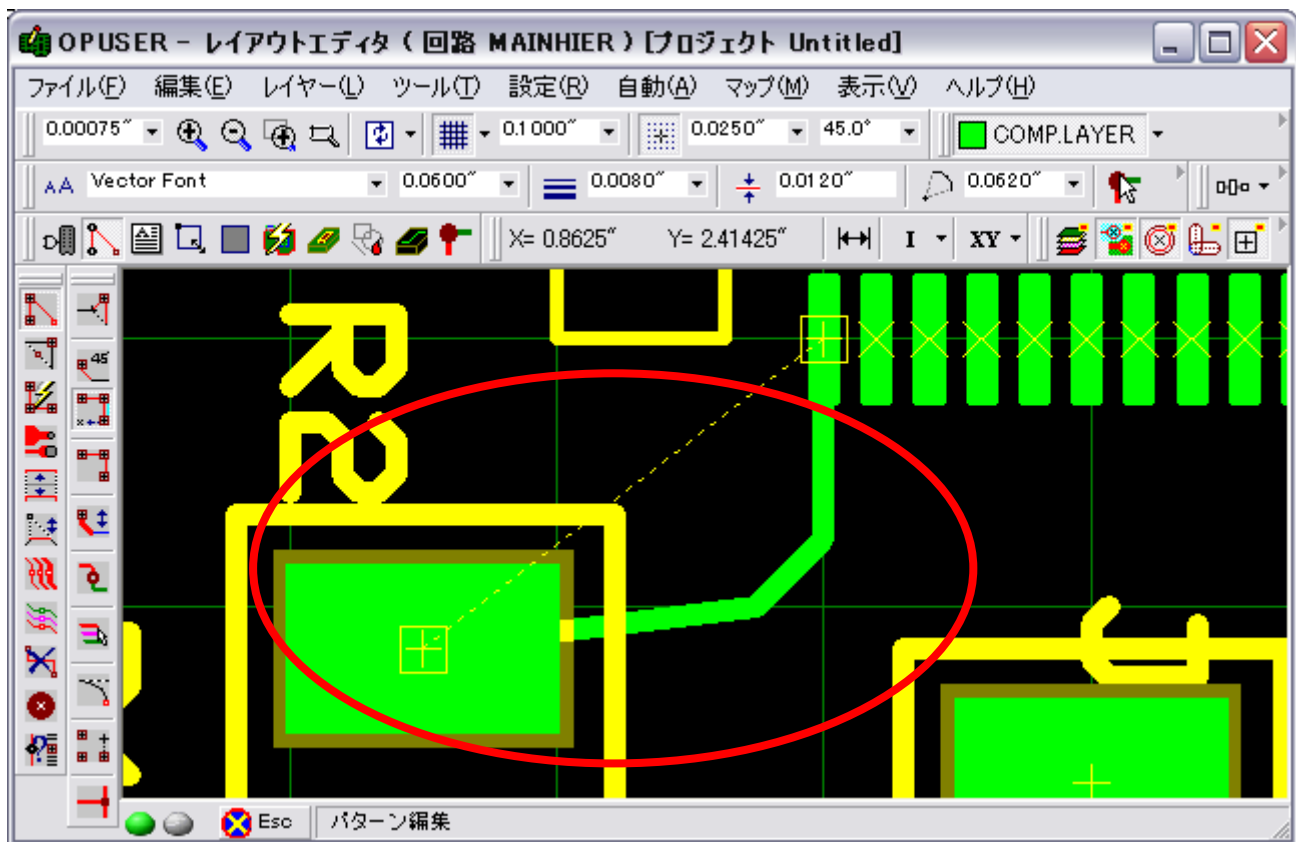


I. LAY 45° 配線機能

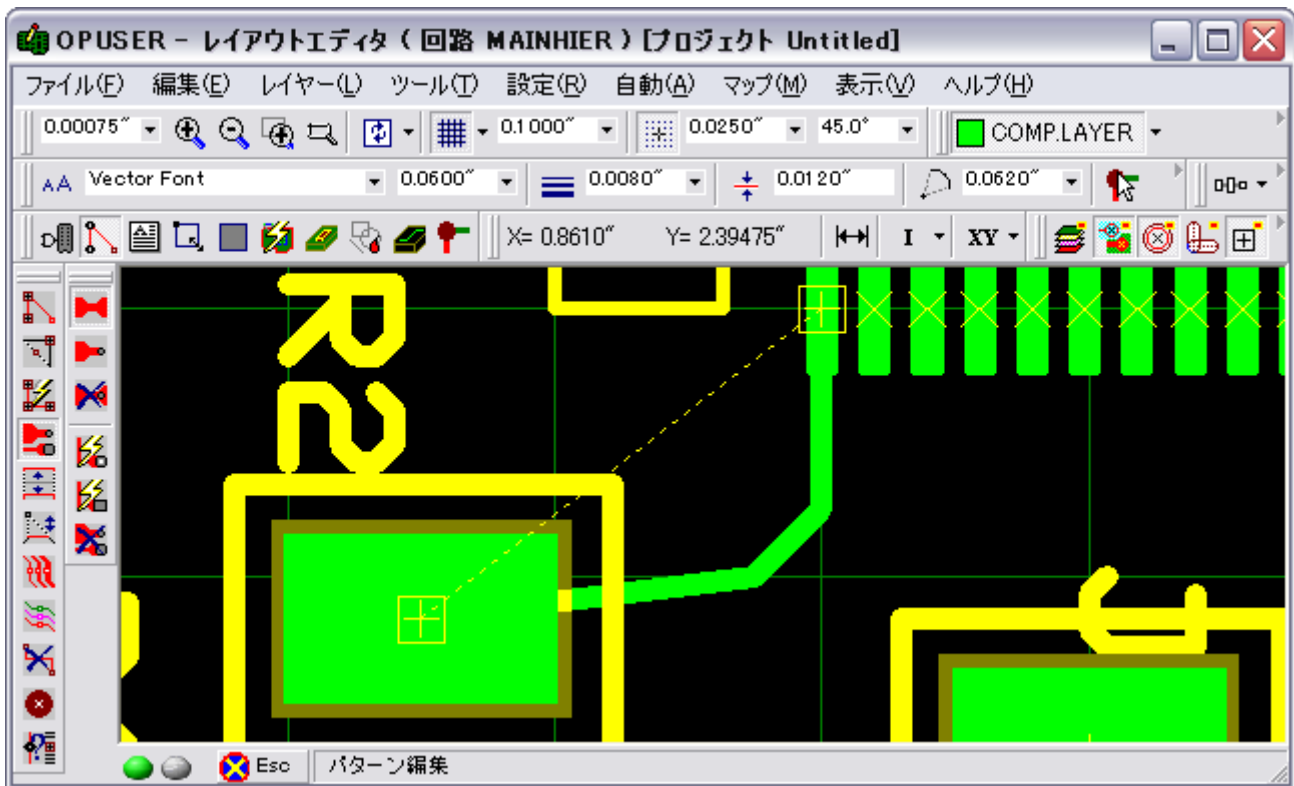
パターンを作成する際、『45° 配線』機能を使用して配線を行うとパターンが見やすく、また部品の配置を細かく行う事ができますが、グリッドスナップ間隔に合わない部品パッドに接続する場合、斜めになってしまう箇所があります。



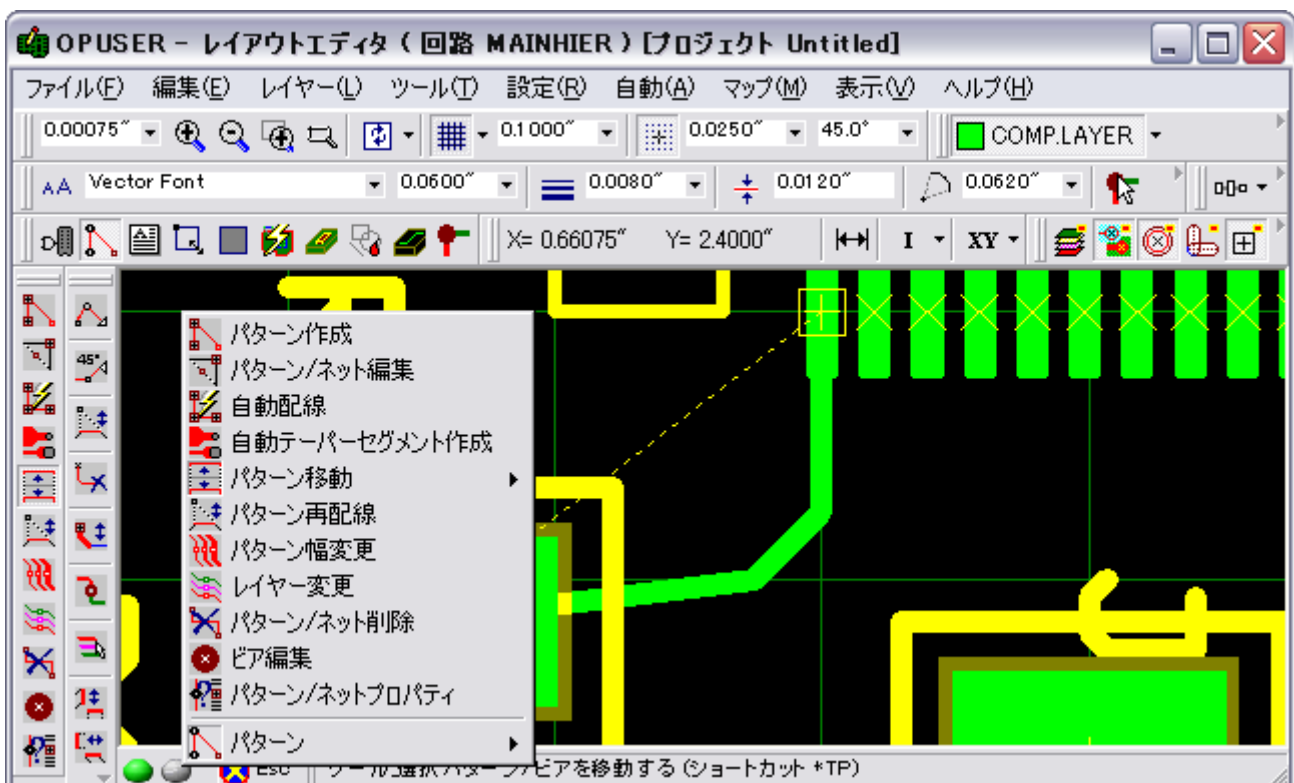
次ページからの方法で、配線方向を整えます。

1.0 : SHIFT キーを使用する

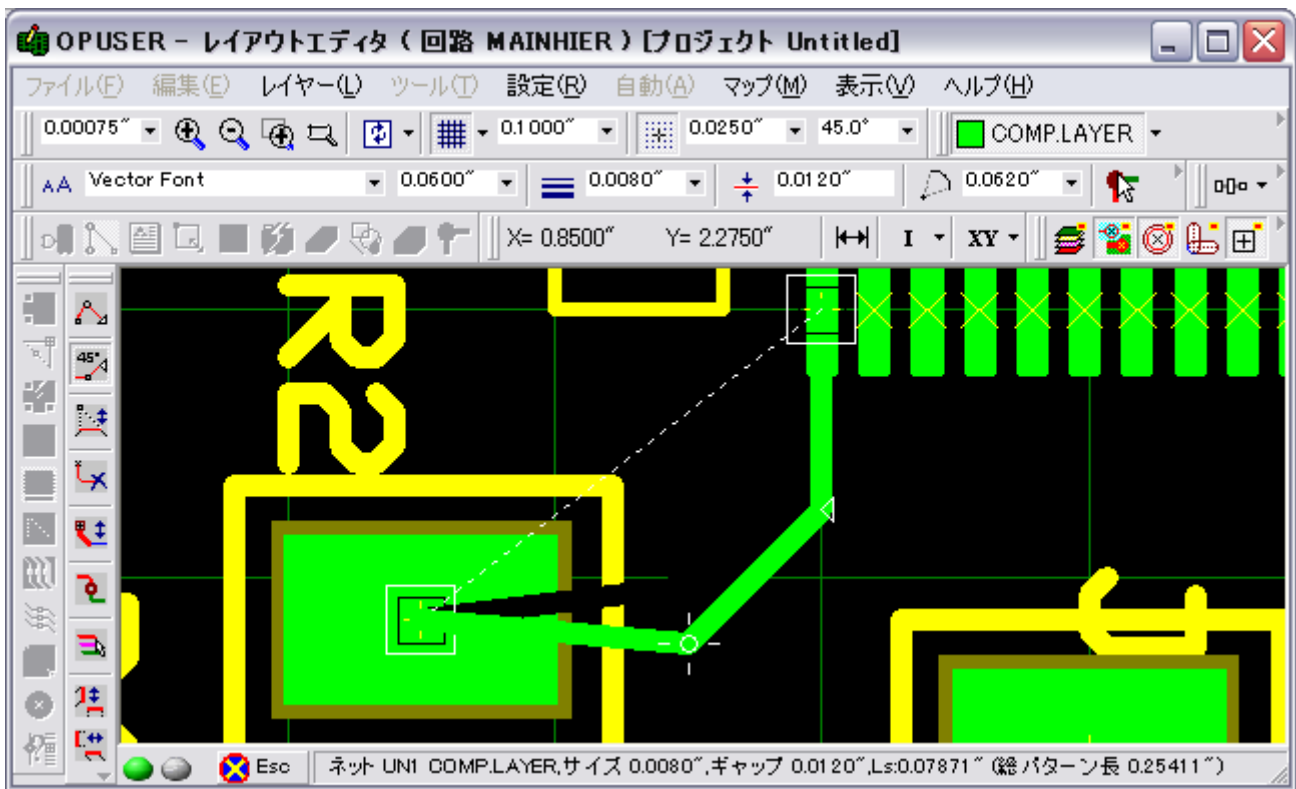
パターンを移動させる際、『SHIFT』キーを押すことで、グリッドに規定されない箇所にベンドポイントを配置します。
まずは、通常通りパッドの中心から中心までパターンを作成します。



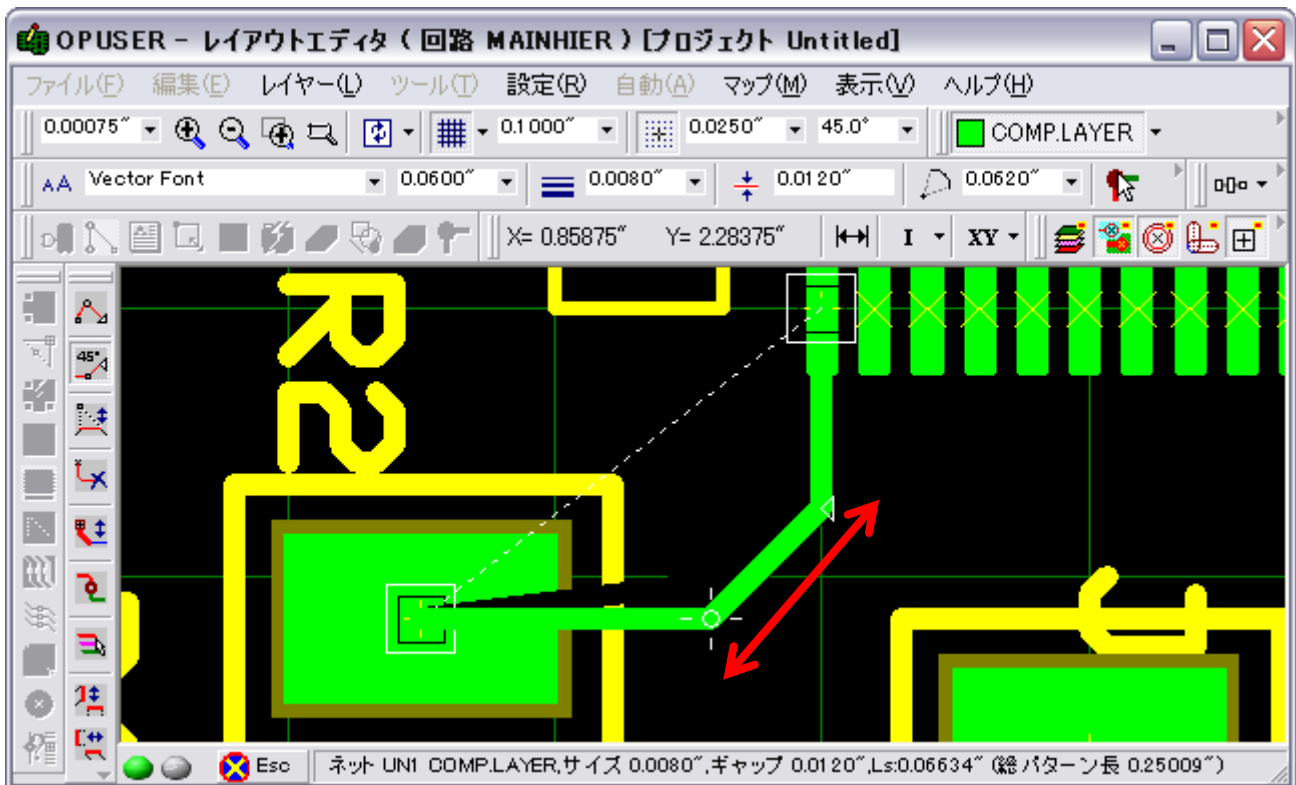
ファンクションツールから『パターン移動』を選択します。



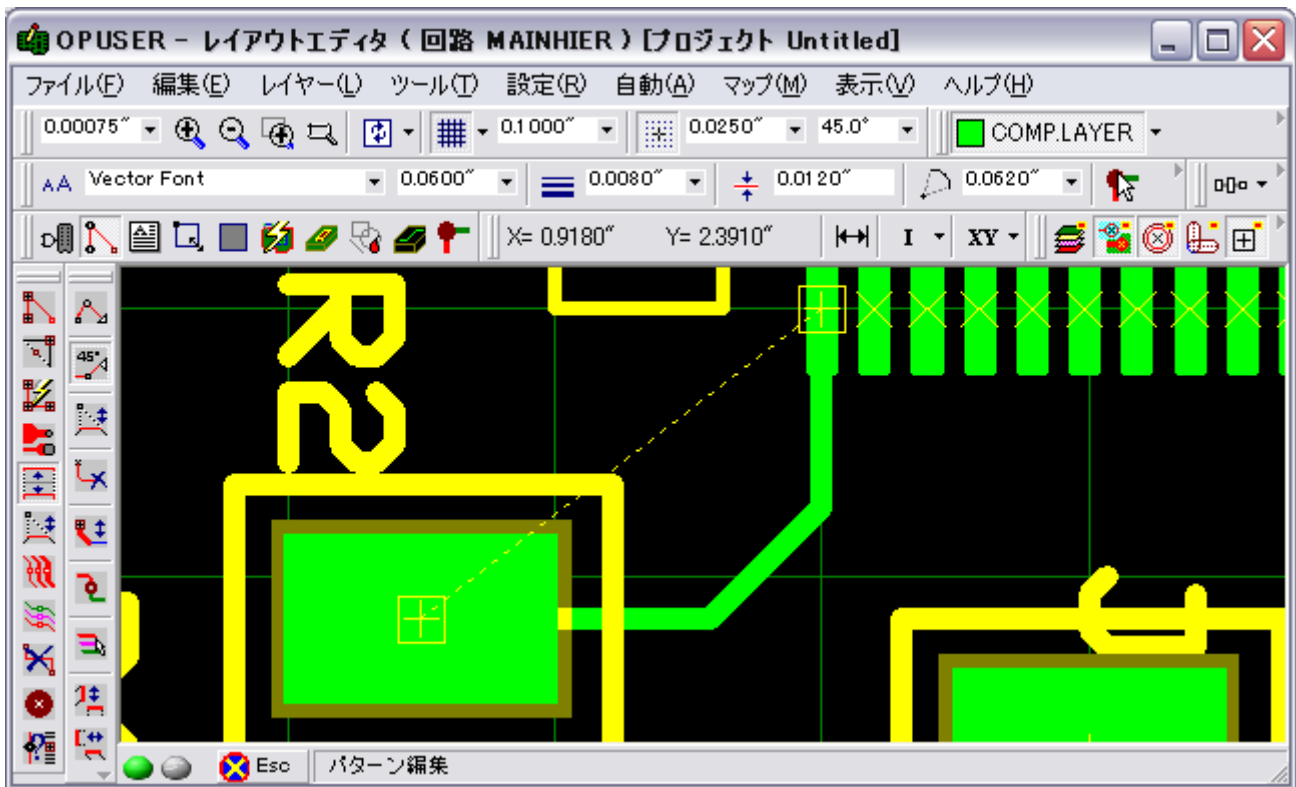
パターンの角をクリックして『ベンドポイント』を選択状態にします。その際『45°配線』機能がONになっている事を確認して下さい。



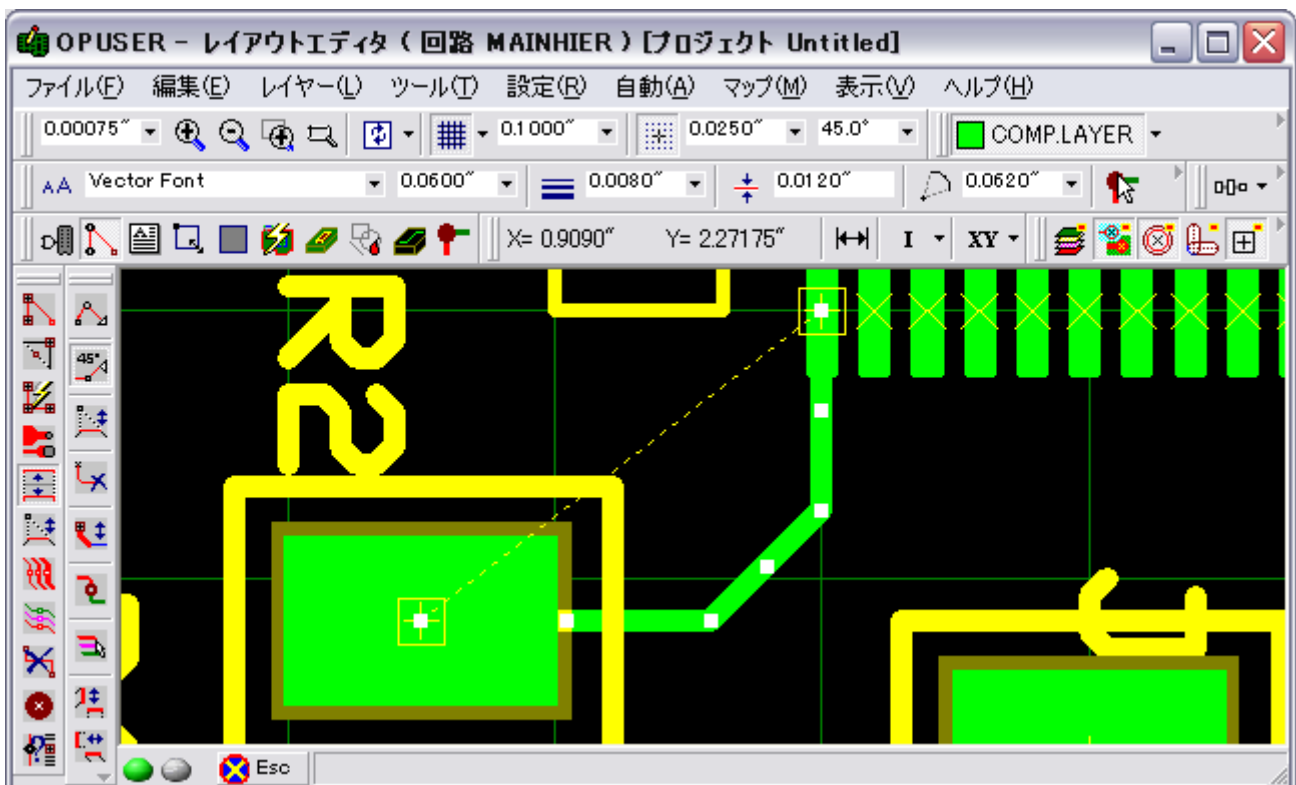
この状態で『SHIFT』キーを押すと、ベンドポイントはグリッドに固定されず、無段階に移動が可能になります。



クリックでバンドポイントを配置します。



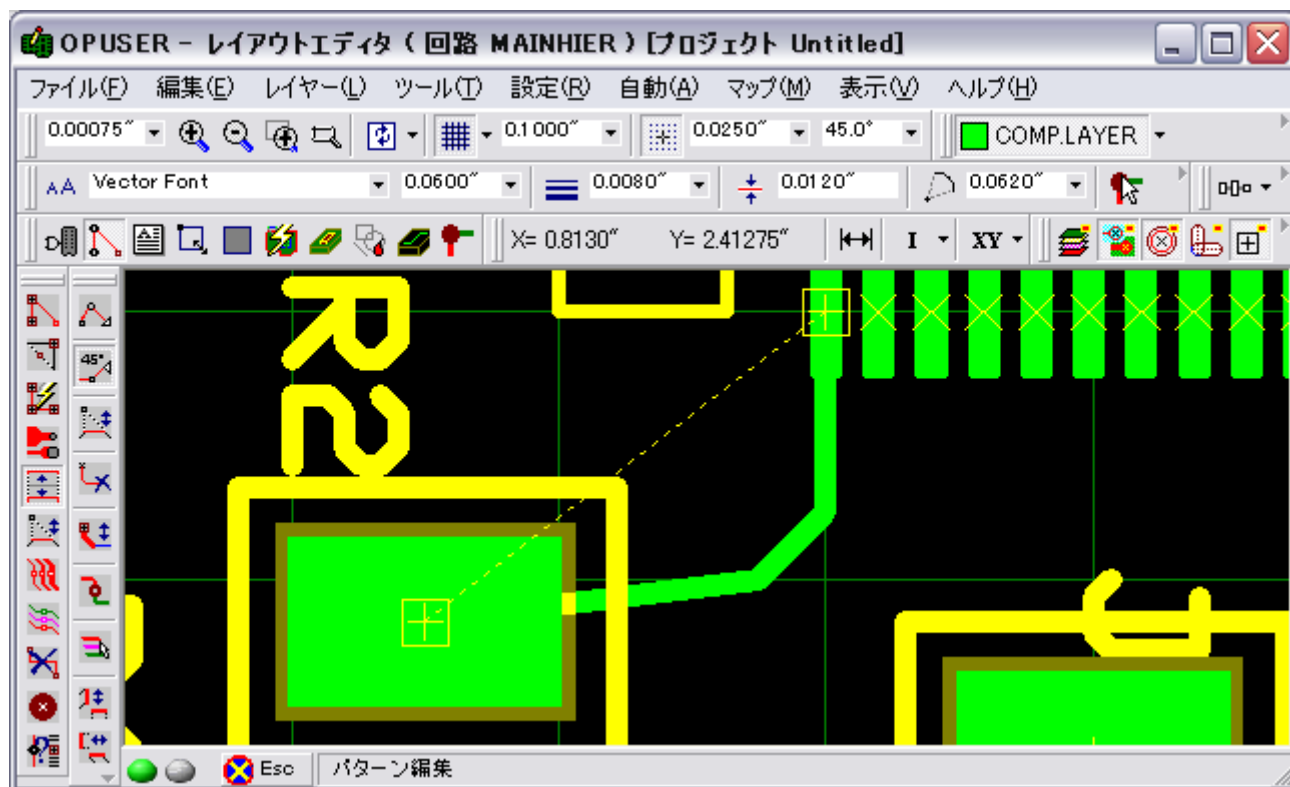
パターンの移動は『Ctrl』キーを押しながらパターンをクリックして行う、クイック編集も使用できます。クイック編集後は、『ESC』キーで選択を解除しないと次の作業に移れないので注意して下さい。



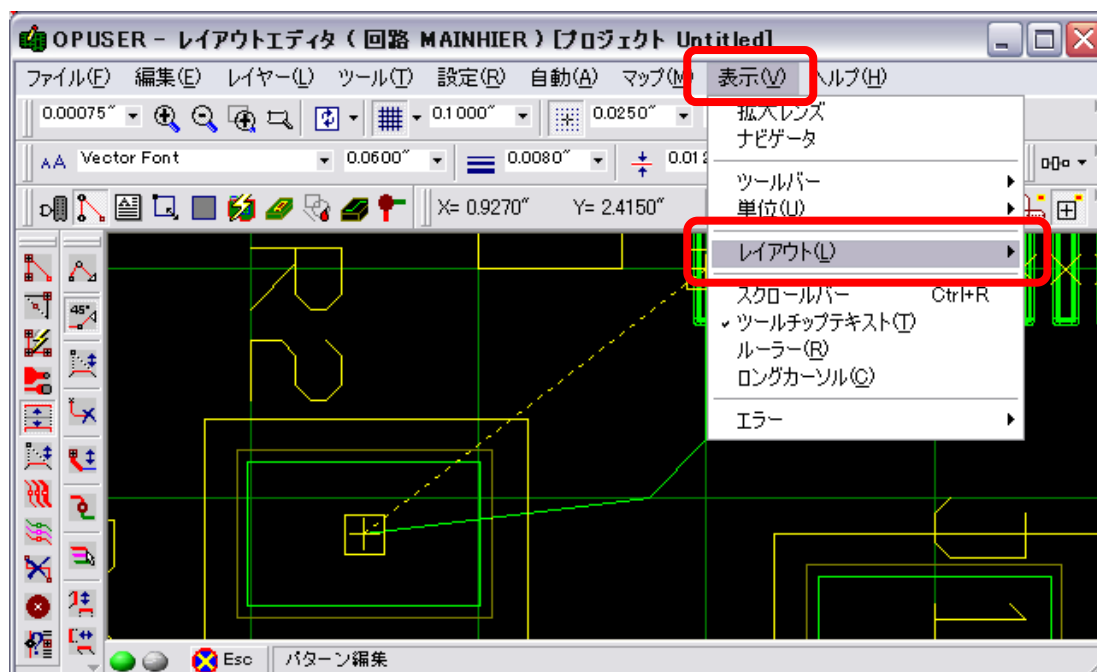
2.0: パッド内にベンドポイントを追加する

パッド内に配線のベンドポイントを追加する事で、45° 配線を維持します。その際、『画面が引きすぎている』、『グリッド間隔が細かすぎる』とカーソルのピックアップエリア（選択範囲）にパッド中心が入ってしまうので、十分に拡大した状態で作業を行って下さい。

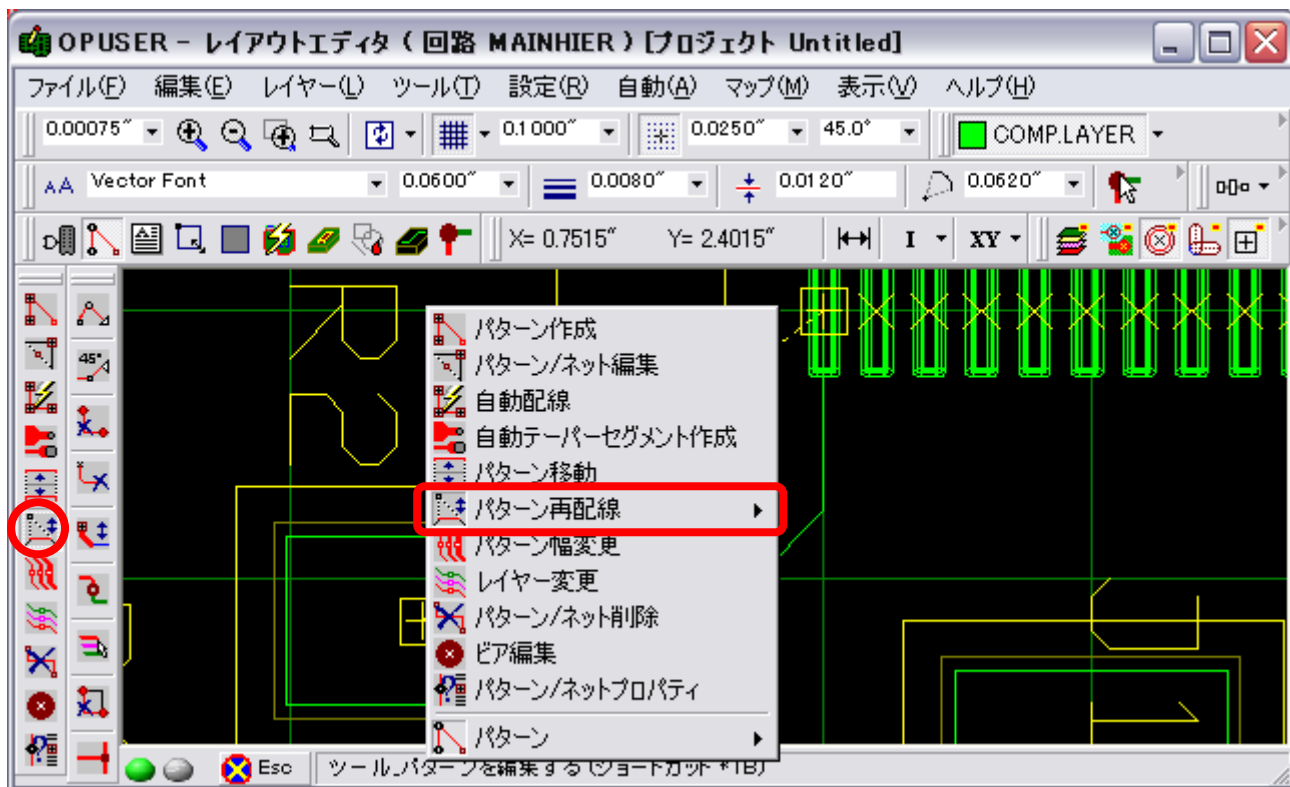
また、パッドの選択点にパターンが接続されていないと、『未接続』と認識されてしまいます。最終的にはパッドの中央へパターンを接続して下さい。



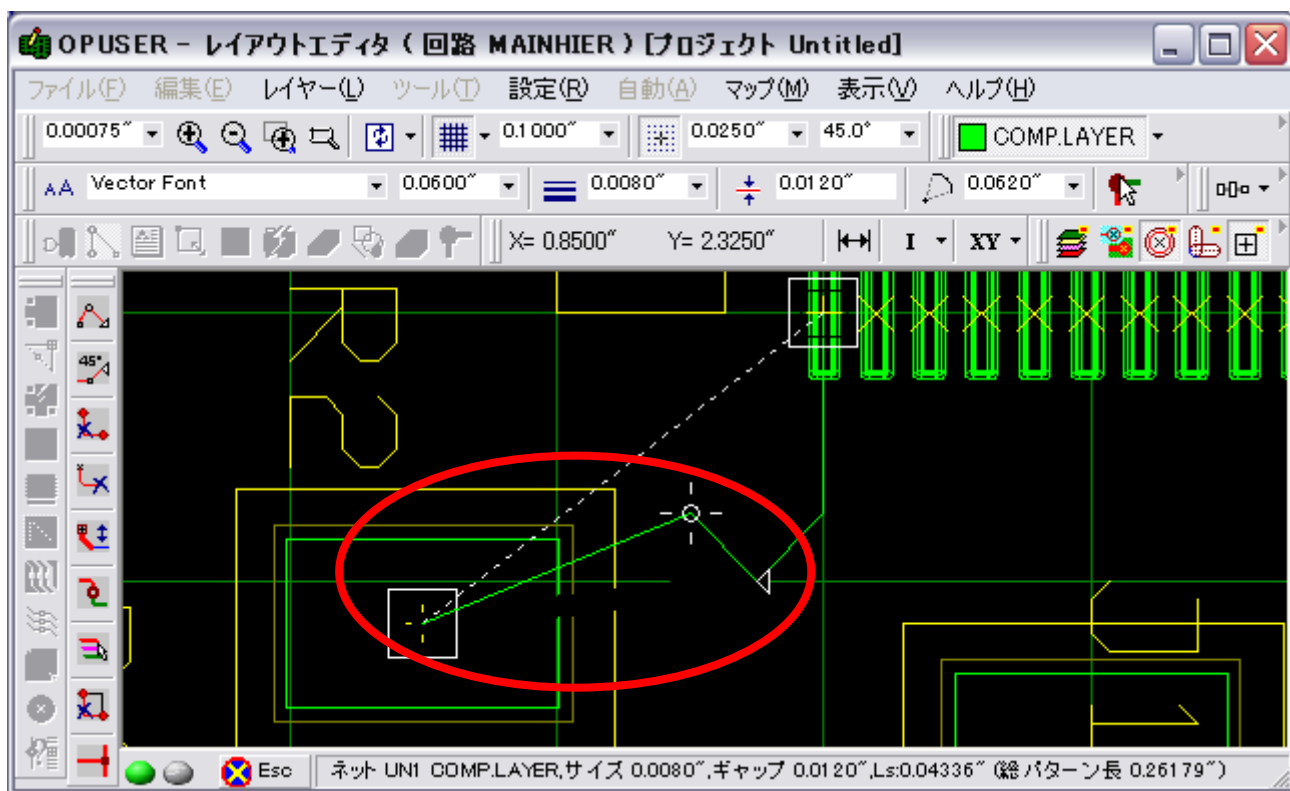
今回は作業を見やすくする為、メニュー『表示/レイアウト』から『実寸』のチェックを外します。



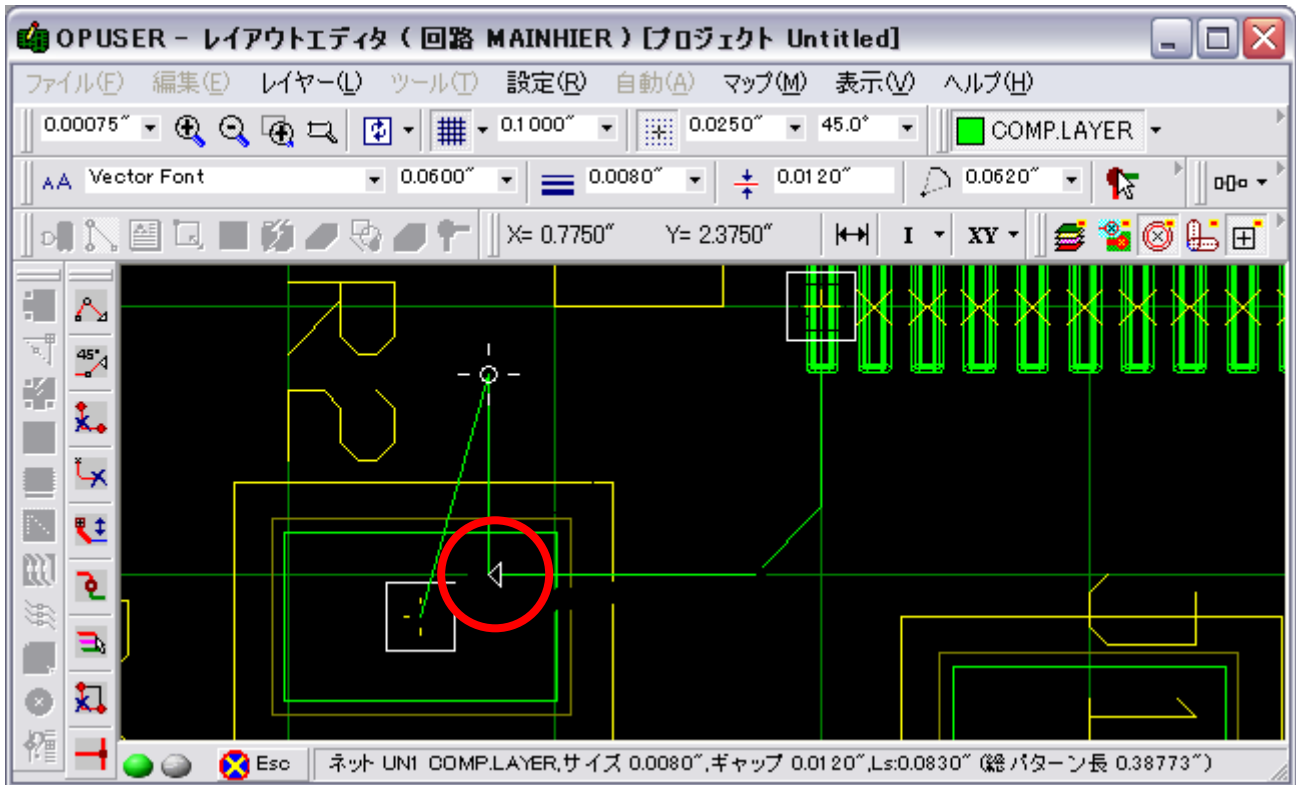
ファンクションツールから『パターン再配線』を選択します。



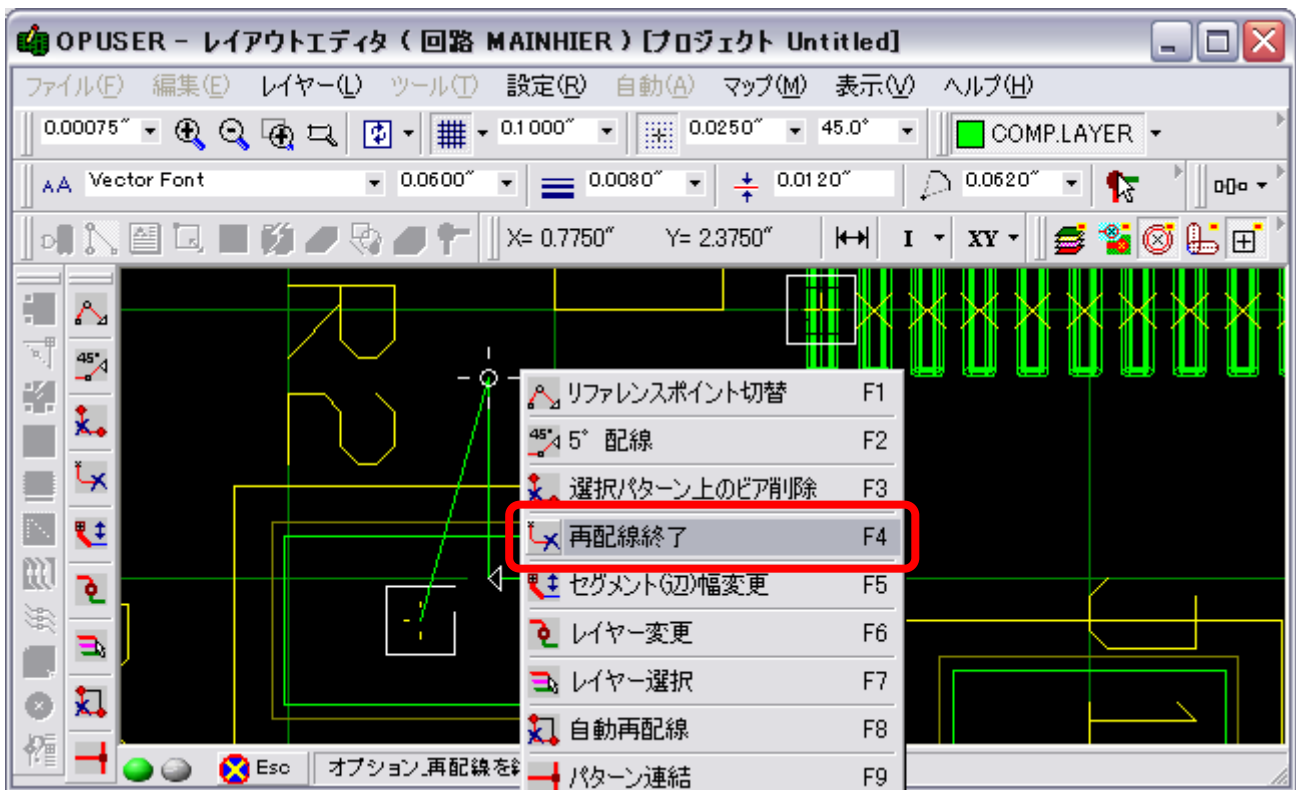
パッドへと接続されているパターンの中点あたりをクリックして『ベンドポイントの挿入』状態にします。



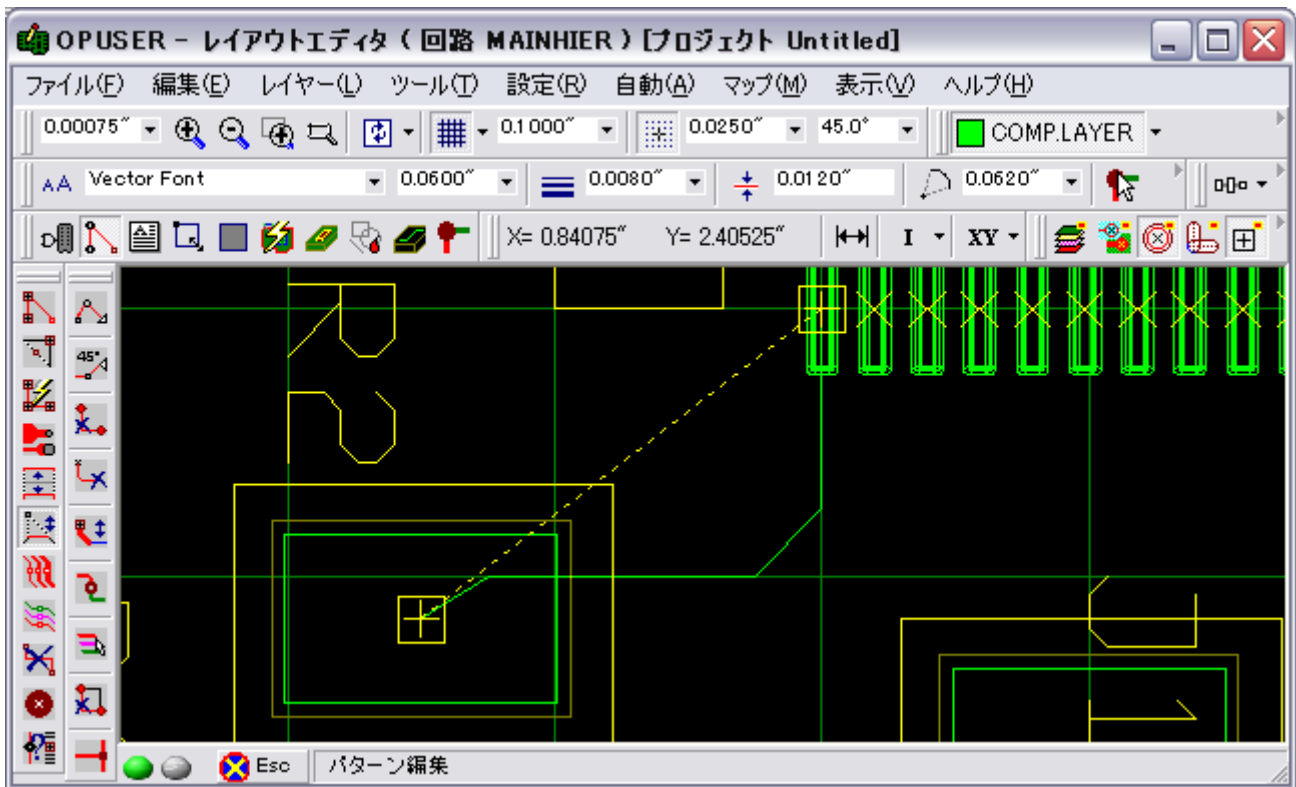
パッドの内側にベンドポイントを作成します。



右クリックして『再配線終了』を選択。



図のように配線が作成されます。



実寸表示に戻すと以下のような表示になります。

これはパターンを作成する際も同じくとなりますので、パッド内にベンドポイントを配置、その後、パッドの中心（選択点）へとパターンを接続します。

